

印象派の地へ： 世界で憧れの旅行先



トキモノ

「君の前に、木、家、
畑があったとしよう。
ただそれを、青やピン
クの四角、緑の楕円
形、黄色の横線、頭の
中に浮かんだままを描
いてみたまえ。」

クロード・モネ



VISITPARIS
REGION

印象派

印象派の画家たちは、迷るいく瞬間に捉えようと、形よりも優先されました。

光とモダニティの画家と呼ばれた印象派の画家たちは、19世紀の絵画芸術に革命を起したのです。現在では、美術史の中でも世界で大きな評価を受けています。

この絵画芸術は、イギリスとフランスの風景画にとって偉大な革新を残しています。リアルismを求める画家たちは、アトリエを捨て、野外に出かけます。バルビゾンに住み、フィンデスブローフの海、アリーヴトル海岸やブリーリー海岸の海岸風景に集まりました。

開通した鉄道に乗ったり、セーヌ河を船で下ったり、印象派の画家たちはばかりいレート、ブンヌ、フルマンディーに新しい主題を探しに行きました。

この広い地域に、偉大な画家たちの足跡が残っています。クロード・モネ、オーギュスト・ルノワール、エドガード・ガ、アントワネット・シラー、フィンセント・ファン・ゴッホ...

これらの「幸せな画家たち」がキャンバスを置き、描いた場所に、訪れる人々が息を馳せるのです。

印象派の画家たちは、街の歴史を語る博物館で、絵画コレクションでは、ワージューズ、ムーラン、エドガード・ガ、アントワネット・シラー、エマ・ゴンサレスなどの作品が収蔵されています。エマ・ゴンサレスは、エドワード・モネの友人で、1870年でイエットを訪ね、城から海を描きました。

今では世界で有名になった絵画が美術館で鑑賞できます。パリのオルセー美術館、ルーアン美術館、ル・アーブルのMUMAマルタン・モネ美術館は、印象派の一大美術館です。

・シベリヤーの印象派美術館、パリのマルモッタン・モネ美術館やオルセー美術館、エマ・ゴンサレスの足跡を辿ります。

徒歩や自転車での旅のコースを提案しています。画家たちが愛した場所、キャンバスを置いた場所に絵画パネルが設置されています。

・今は芸術家たちにインスピレーションを与える場所です。画家たちが多く集まり、アート・ギャラリーが並んでいます。

印象的なノルマンディーの海岸

パリ地方観光協会とノルマンディー地方観光協会は、フランスへのPRとして、印象派の旅の魅力を発信し、地方という枠組みを超えて、このテーマを盛り上げていきたいと考えています。

近年、パリ地方、ノルマンディー地方は、「土地、歴史、文化、地理」などを活かしたプロジェクトを推進してきました。歴史的とも関係があり、多くの足跡は、お互いに協力し、地方という枠組みを超えて、メッセージを発信するという目的で結ばれています。

外務省の呼びかけにより、パリ、イル・ド・フランス地方、オート・ノルマンディー地方、バス・ノルマンディー地方は、「ノルマンディー・パリ、イル・ド・フランス：印象派の旅」という目的で協約を結びました。

この協約は、自治体と企業が観光推進と地域発展のために協力して活動し、世界各地から訪れる方の強い要望に応え、質の高い観光地を目指していくという目的で作られました。

パリのオルセー美術館、マルモッタン・モネ美術館、モンマルトル美術館、オーベル・シユル・オワーズ、バルビゾンから、ジバニー、オヌフルール、ルーアン、ル・アーブル、カランティエップなどの街でも、印象派にまつわる様々な文化・観光イベントが企画されています。

このフレスキートは、19世紀にこの地から生まれた印象派の様々な魅力を紹介しています。

クロード・モネ「印象・日の出(部分)」1872年、油絵、50 x 65 cm、マルモッタン・モネ美術館、パリ
© Christian Baraja

ル・アーブルはセーヌ川の河口に位置し、画家たちの創造力を刺激する場所となりました。ジャン・フランソワ・ミレー、ウージエース・グーダン、クロード・モネが青年時代を過ごしました。

花に満ちた港町オヌフルールは、画家だけではなく、ミュージシャンや小説家など多く集まっています。1860年代、サン・シメオン農場の宿は、クロード・モネやその友人ウージエース・グーダン、キュスター、ルーベ、フレデリック・バジール、ヨハネス・ツィードルトなど、多くの作家たちが宿泊しました。現在は、セーヌ河口を見下す素晴らしい眺めのルレ・シットル・ラ・サンボルールになっています。旧港の周りには、カラフルな木骨組の細い家が立ち並びます。ここは、ノルマンディーの景色の代表となるほど、多くの画家に描かれました。ウージエース・ブーダン美術館は、旧礼拝堂の建物に置かれています。ブーダンは19世紀、ノルマンディー地方を愛し、多くの作品を残しています。

ル・アーブルはセーヌ川の河口に位置し、画家たちの創造力を刺激する場所となりました。ジャン・フランソワ・ミレー、ウージエース・グーダン、クロード・モネが青年時代を過ごしました。

花に満ちた港町オヌフルールは、画家だけではなく、ミュージシャンや小説家など多く集まっています。1860年代、サン・シメオン農場の宿は、クロード・モネやその友人ウージエース・グーダン、キュスター、ルーベ、フレデリック・バジール、ヨハネス・ツィードルトなど、多くの作家たちが宿泊しました。現在は、セーヌ河口を見下す素晴らしい眺めのルレ・シットル・ラ・サンボルールになっています。旧港の周りには、カラフルな木骨組の細い家が立ち並びます。ここは、

2015年、2016年に開催される主要な印象派展

MUSÉE JACQUEMART ANDRÉ
ジヤックマル・アンドレ美術館
Monet, Renoir, Pissarro, Boudin, Gauguin...en Normandie
L'atelier en plein air
ノルマンディーのモネ、ルノワール、ピサロ、ブーデン、ゴーギャン「野外のアリエ」
2015.6/18~7/25

19世紀に、新しい絵画のジャンルが現われました。野外で描く風景画です。この絵画革命により、ノルマンディー地方は世纪も早く、アーヴィング・ジョンソンの画家たちの間でも愛する最先端になりました。

ノルマンディーでは、画家たちは惹き続ける魅力に溢れています。風景の多様性、様々なスタイルの建築遺産、海水浴の流行、當時の2大芸術の都パリと、今から約1カセのの良さなど、ノルマンディーの各地が印象派画家の愛する野外アーティストとなり、才能が開花させた進化させました。この展示会では、ミュンヘンのオーバルヒュッテ(Kunsthalle der Hypo Kulturstiftung)とマドリードのソロージャ美術館(Museo Cordoba)の協力で開催されました。

ノルマンディー印象派フェスティバルはノルマンディー全域で、年に1回開催されています。2010年の第1回、2013年の第2回のフェスティバル開催中に150万人もの集客がありました。

フェスティバルは、老若男女問わず、誰もが楽しめる文化イベントです。印象派祭典の地において制作された作品に触れて、素晴らしい歴史や名所を訪れる機会です。

ノルマンディー印象派フェスティバルはフランスでも最大規模を誇るフェスティバルで、絵画、現代アート、音楽、映画、演劇、ダンス、写真、ビデオ、文学、史跡の壁への映像投影、草上の昼食、ダンスホールでのガングットなど600を超えるイベントが繰り広げられ、あらゆる口から歓声が響いています。

第3回となる2016年のフェスティバルのテーマは「印象派による肖像画、人間性の核心」です。印象派を別の角度から見る機会となることでしょう。

印象派の画家たちは肖像画に新風を巻き起こしました。ルノワールは花と共に若い娘たちの優美な表情を描くことを好み、トマスは婦人帽子店の売子や洗濯女、ピサロは農家の娘を題材にしました。

印象派の手により、対象が女性であれ男性であれ、肖像画が近代絵画や写真芸術へつながる現代絵画の流れの中で大きな位置を占めるようになったのです。

www.normandie-impressionniste.eu

第3回ノルマンディー印象派フェスティバル 2016.4/16~9/26

ノルマンディー印象派フェスティバルはノルマンディー全域旅游で、年に1回開催されています。2010年の第1回、2013年の第2回のフェスティバル開催中に150万人もの集客がありました。

フェスティバルは、老若男女問わず、誰もが楽しめる文化イベントです。印象派祭典の地において制作された作品に触れて、素晴らしい歴史や名所を訪れる機会です。

ノルマンディー印象派フェスティバルはフランスでも最大規模を誇るフェスティバルで、絵画、現代アート、音楽、映画、演劇、ダンス、写真、ビデオ、文学、史跡の壁への映像投影、草上の昼食、ダンスホールでのガングットなど600を超えるイベントが繰り広げられ、あらゆる口から歓声が響いています。

第3回となる2016年のフェスティバルのテーマは「印象派による肖像画、人間性の核心」です。印象派を別の角度から見る機会となることでしょう。

印象派の画家たちは肖像画に新風を巻き起こしました。ルノワールは花と共に若い娘たちの優美な表情を描くことを好み、トマスは婦人帽子店の売子や洗濯女、ピサロは農家の娘を題材にしました。

印象派の手により、対象が女性であれ男性であれ、肖像画が近代絵画や写真芸術へつながる現代絵画の流れの中で大きな位置を占めるようになったのです。

www.normandie-impressionniste.eu

パリ地方の観光に関する統計(2014年)

パリ地方は、現在年間4600万人が訪れる世界一の観光地になっています。この地域では、50万人の雇用と20億ユーロの経済効果があると言われています。

- パリ地方のホテルの外国人来場者数 1570万人
- パリ地方のホテルの外国人宿泊数 3830万
- パリ地方の日本人宿泊者数 70万6000人
- パリ地方の日本人宿泊数 168万6000

パリ地方の日本人観光客のプロフィール

- 43.0% リピーター
- 57.0% 初めての訪問
- 滞在期間: 平均3.1泊
- 人気のスポット「Top 5」: ルーブル美術館、エッフェル塔、凱旋門、パリ・オート・ド・ラム大聖堂、オルセー美術館
- 人気のアクティビティ「Top 5」: 美術館・博物館巡り、街歩き、ショッピング、ガンドリア・ガトロロミー、テーマパーク来館
- 88.6%の方が旅行後、周囲の人たちにパリの旅をおすすめしています。

出典: CPT Paris Ile-de-France (2014年の統計) 飛行場や電車、高速インターで行われたアンケートより。

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での外国人宿泊数 1190万

2013年度比+2.5%。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万

6403年年度比+26.4%

ノルマンディーの日本人観光客のプロフィール

- 滞在日数: 平均1.2泊
- モン・サン=ミッシェル: ノルマンディーでの有料施設で1位 120万人以上、来日した日本人観光客は外国人来場者の1.6%を占めています。

- ノルマンディー地方の宿泊施設での

日本人来場者数 7万 8000人 日本人宿泊数 9万